

びがかいのトビウ



【特集】市民インタビュー

地球の環境を守る活動を

子どもの未来のために、今私たちができること
エコネットはむら

P2

●令和元年度決算審査	P 4
●審議した主な議案	
市長提出議案	P10
委員会提出議案	P11
●議案の議決結果	P12
●市政について問う	
《一般質問》	P14
●議会活動報告	P23

No.131

令和2年(2020年)
11月1日発行
(通巻240号)

地

球の環境を守る活動を

子どもの未来のために、今私たちができること

羽村市地球温暖化対策推進協議会 エコネットはむら

◀パッションフルーツのグリーンカーテン



世界的な環境問題として挙げられている「地球温暖化」。今回お話を伺った「エコネットはむら」の皆さんは、市内で開催される環境フェスティバルへの参加や、グリーンカーテンづくりの講習会を行うなど、地球温暖化に対するさまざまな取り組みや啓発活動を行っています。

—「エコネットはむら」は、どうやって生まれたのですか？



松崎博満さん
(会長)

私たちは、一般的なボランティア団体とは成り立ちが違っています。地球温暖化が、誰もが解決しなければいけない課題となっている中で、「市と市民と事業者」を結びつけて温暖化対策を進める「実践団体」として、羽村市地球温暖化対策地域推進計画に位置づけられて、

活動をスタートしました。

—温暖化の影響を身近に感じることは増えてきましたね

松崎 今年も九州で大雨による甚大な被害が出ました。昨年の台風19号では、羽村市でも宮の下運動公園が浸水するなどし、多くの市民が避難しました。いずれも海水温度の上昇が原因と言われており、元をたどれば大気中のCO₂濃度の上昇、つまり地球温暖化の結果と言えます。ぜひこれを解決したいと思っています。

—具体的にはどんな活動を行っているのでしょうか？

松崎 今、私たちが活動の柱としていきたいと考えているのは「グリーンカーテン応援隊」です。ゴーヤなどのつる草でカーテンを作り、日差しをさえぎるのですが、体感で10℃ほどは気温が下がります。緑がすがすがしく、気分が良いですよ。講習会も行っているのですが、ぜひ皆さんに取り組んでもらいたいんです。今後は、学校や町内会を取り組んでもらえるよう働きかけたいと思っています。

芝 文夫さん (副会長)



羽村に「節電所」をつくらう、という取り組みも行っていきます。

市内には、さまざまな活動を通じて市民の暮らしを支えている方が大勢います。議会として、そのような方々の活動を知り、また市民の皆さんにもご紹介しながら、議会の役割を考えていきたいと思っています。今回は厚生委員会が担当しました。

【表紙の写真】
(令和2年8月27日撮影)
パッションフルーツで作った
グリーンカーテン (松崎さん宅)

※写真撮影時のみ、マスクをはずしています。

各家庭が節電する場所⇨節電所となることで、小さな省エネでもみんなで取り組めば、大きな低エネルギー社会がつけられる、という考え方です。

加藤えり子さん



私は、ソーラークッカーを担当しています。太陽熱だけで調理する器具ですが、驚くほどの熱量が出て、とても美味しく料理が作れます。以前講師として招いた第一人者の方は、おせち料理まで作ってしまっただけです！

倉地篤子さん(副会長)



それから、エコストーブも扱っています。これは、金



▲電気やガスを使わず太陽熱だけで調理できるソーラークッカー



▲エコストーブ



▲環境フェスティバルでグリーンカーテンの講習会を行いました

属製の容器を使って手作りしたストープで、枯れ枝や廃材など、化石燃料でないものを燃料にしています。屋外で煮炊きするのに最適で、災害時にも役立ちます。

面白く、また、役に立ちそうですね。これら全てが地球温暖化の対策や意識啓発につながっていると思うのですが、皆さんが活動に参加されたきっかけは？

倉地 私は、京都議定書の年(1997年)に温暖化問題の講演会に参加したのがきっかけでした。地球環境が大変なことになっていると、何とも言えない気持ちになりました。そして、多くの市民に働きかけをしなければ、との思いで活動してきました。

加藤 私は、お声掛けもあり入会しました。それまでは温暖化につ

いて、あまり問題意識がありませんでしたが、羽村市のイベントで活動していくうちに、温暖化の現状を知ることになり、自分の中より意識が芽生えました。

芝 私は、勤めていた自動車会社で、環境マネジメントシステムで審査員をしていました。その経験を少しでも生かせればと活動を始めました。

松崎 私も実は以前は温暖化に対する意識は低かったんです。でも、市が取り組んでいたグリーンカーテン・コンテストに声をかけられて参加してみたところ、うまく育って、賞をいただきました。そして、その効果に驚いた。それがきっかけですね。

皆さんそれぞれ、温暖化問題の重要性への「気づき」があったのです。最後に、市民の皆さんへお伝えしたいことは？

松崎 子どもたちの未来に負の遺産を残さないためにも、今大人たちが環境対策をやらなくてはいけないと思います。

倉地 エコネットはむらの活動を多くの市民に知ってもらい、皆さんと一緒に、地球温暖化を解決するための取組みを広げたいと思っています。

松崎 会員を大募集しています。また、イベントにも多く取り組んでいきます。楽しみながら、持続可能な社会をつくっていきましょう。

インタビューを終えて

自らのために、次の世代のために、真剣に考え行動している姿にすがすがしさを感じました。会の発展を切に願っています。

お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

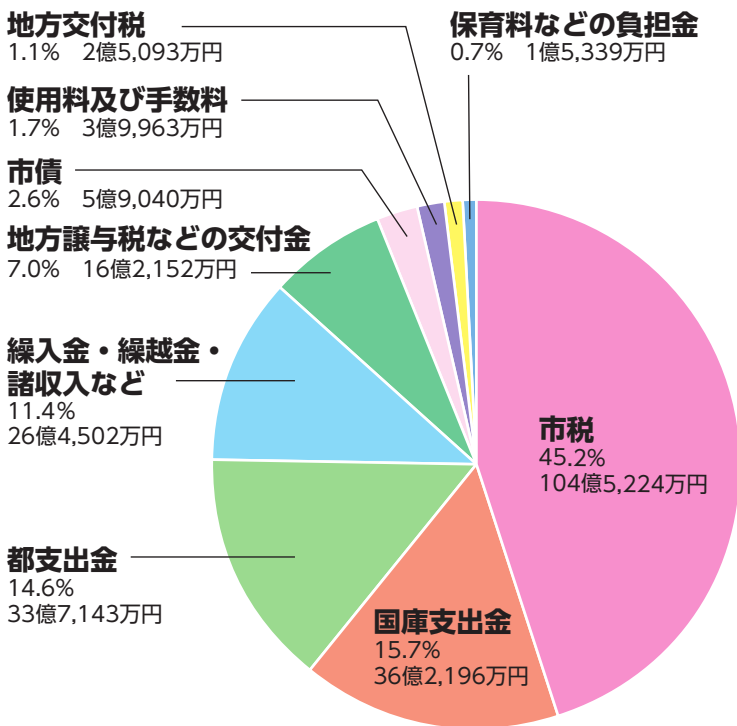
エコネットはむら

- 目的 地球温暖化に対する啓発活動を行う
- 活動場所 市内各所、市役所ほか
- 発足 平成24年
- 会員 16人
- 連絡先 042-554-6367 松崎
- ※会員募集中です！

9月15日～17日の3日間にわたり、令和元年度一般会計等決算審査特別委員会を開催しました。（馳平耕三委員長、山崎陽一副委員長）

市長から提出された前年度の一般会計、5つの特別会計、水道事業会計の決算の認定に係る議案について、予算の執行が適正かつ効果的・効率的に行われたかなどを審査しました。

その結果、すべての会計の決算を認定すべきと決定しました。審査結果を、最終日の本会議で報告し、7つの会計すべてを認定しました。特別委員会での審査の概要をお知らせします。



一般会計歳入合計 231億652万円

歳入合計は2,463万円(0.1%)減少

- 市税は7,161万円(0.7%)減少
- 基金繰入金は
5億4,519万円(56.5%)の増
年度末基金残高は10億6,638万円減少し、16億7,155万円
- 歳入に占める **市税** の割合は45.2% (0.3ポイント低下)
市税のうち、固定資産税など市民税以外の全ての税目が増加しましたが、市民税は1億6,341万円減少しました。

令和元年度会計別決算状況

(単位：万円)

区分	予算現額	歳入決算額 (実際の収入)	収入率 (予算現額 に対する歳 入の割合)	歳出決算額 (実際の支出)	執行率 (予算現額に対す る歳出の割合)	歳入歳出 差引額	
一般会計	2,339,540	2,310,652	98.8%	2,248,673	96.1%	61,979	
特別会計	国民健康保険事業	610,571	614,283	100.6%	598,249	98.0%	16,034
	後期高齢者医療	131,407	131,145	99.8%	128,038	97.4%	3,107
	介護保険事業	380,998	366,939	96.3%	354,360	93.0%	12,579
	羽村駅西口土地区画整理事業	101,352	94,747	93.5%	85,338	84.2%	9,409
	下水道事業	124,084	119,212	96.1%	110,993	89.4%	8,219
水道事業会計	収益的収入	112,384	112,685	100.3%			収益的収支 18,350
	収益的支出	96,766			94,335	97.5%	
	資本的収入	16,220	16,220	100.0%			資本的収支 △ 48,781
	資本的支出	65,375			65,001	99.4%	

※水道事業会計については、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金などで補てんしました。

市民税法人分が減少し、 厳しい財政運営が続く

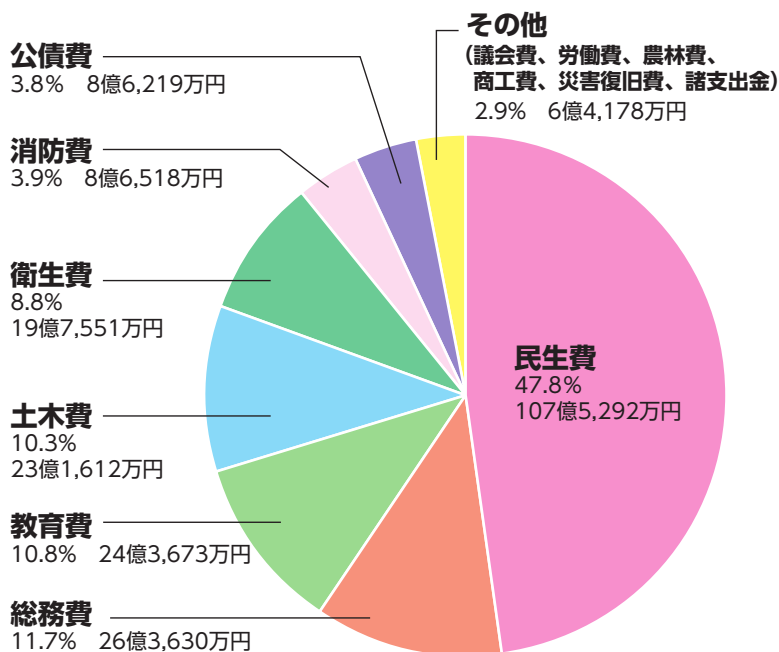
基金残高が減少し、財政の硬直化が進む

一般会計歳出合計
224億8,673万円

歳出合計は
1億5,500万円(0.7%)減少

- 構成割合の第1位は **民生費** 47.8% (0.3ポイント増加)

障害福祉サービス費や生活保護費などの扶助費が増加した一方、私立保育園施設整備費補助金や動物公園改修工事、公債費が減少しました。



令和元年度の主な施策

【子ども・教育関係】

- 産後ケア事業のデイサービス型の開始
- 第三次小中一貫教育基本計画の策定

【福祉・健康関係】

- パラリンピック競技「ボッチャ」の普及促進
- 新生児聴覚検査の公費負担

【市民生活・産業関係】

- 気象観測装置の導入
- 防災行政無線のデジタル化整備

【産業振興】

- 台風19号で被害が生じた羽用水路の復旧支援

【環境・都市整備関係】

- スイミングセンターにおける市内工場の廃熱利用実験の実施

【道路整備】

- 市道202号線（川崎街道）の歩道整備
- 羽村駅自由通路拡幅等整備事業の完了

【行財政運営】

- 次期長期総合計画の策定に向けた調査・研究開始

【公共施設整備】

- 羽村第二中学校体育館の空調設備設置

【東京2020大会】

- 気運醸成事業の実施



委員の質疑

一般会計歳入

Q 市民税法人分が当初予算に対して減少している理由は。

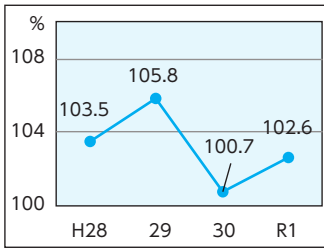
A 米中の貿易摩擦による中国経済の減速などにより、企業の業績が影響を受けたと捉えている。

Q 財政調整基金が減少している。今後緊急対応が必要になった際に、これまでの基金の状況で良いのか。

A 基金が徐々に減っていることは認識している。今後、財政調整基金は、標準財政規模の1割程度以上は確保していきたいと考えている。

Q 経常収支比率が昨年度より悪化している。行財政改革が進まなかったことが要因か。

A 行財政改革の効果で経費は下



経常収支比率の推移 (年度)



ふるさと納税のご案内



小作駅東口公衆喫煙所

がったが、それ以上に市税等の歳入が減少したことが要因。歳入の減少に合わせる歳出も削減していくよう、今後も行財政改革を進めていく。

Q 寄付金のふるさと納税分の件数が大幅に減少した要因は。また、返礼品についての今後の予定は。

A 平成30年度は動物公園の看板製作におけるクラウドファンディングの件数が含まれていたため。現在、事業者に対して返礼品を募集している。11月頃から返礼品を用いたふるさと納税をスタートさせる。

Q 不納欠損額、収入未済額がどちらも高額である要因は。

A 国等の方針に基づき、滞納者の生活再建に結び付けるためにも適切なものについては、地方税法等に基づいて不能欠損していく取り組みを行ったため。

委員の討論(一般会計)

賛成

新しい視点に立った改革や事業の見直しも必要

産後ケア事業にデイサービス型を追加し子育て支援を強化したこと、自殺対策基本法に基づいた自殺対策計画を積極的に立案したこと、スクール・サポート・スタッフの配置など学校現場を支援するさまざまな施策を実施したことなどを評価する。

財政の健全化には、羽村駅西口土地区画整理事業、自然休暇村や動物公園などを大胆に見直すことも必要な点として指摘し、賛成する。

<令和かがやき>

反対

行政のスリム化で市民サービスが削減

市民税法人分が大きく減少するなど財政が厳しさを増す中、多くの市民が反対する羽村駅西口土地区画整理事業に6億2,647万円を繰り出した。その一方で、子供たちが毎年楽しみにしている水上公園プールを休止とするなど、「行政のスリム化」の名で市民サービスの削減がすすめられた。予算の優先順位がおかしくなっていると指摘し、本会計の予算に反対した。決算認定にも反対する。

<日本共産党>

●討論とは…本会議や委員会、表決の前に、議題となっている案件について、賛成か反対の意見を表明することをいいます。

一般会計については、5件の討論があり、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

一般会計歳出



コミュニティバス「はむらん」



聖火リレーのリハーサル



清里にある自然休暇村

くらし

Q 小作駅東口に設置された喫煙所の利用状況及び利用者の評判は。

A 吸い殻の量から推測すると利用者は増えている。適正に利用されていると認識している。

Q コミュニティバス「はむらん」の運賃収入はどのくらいか。また、収益を上げるための対策はどのようになっているか。

A 収入は、1780万2千円。今後はネーミングライツなど新たな収入源を確保しつつ増客を図っていききたい。

オリンピック・パラリンピック

Q 東京2020大会への気運醸成やキルギス共和国のホストタウン

ンとしての取組みは。

A キルギス柔道連盟との事前キャンプの合意書締結や、これに基づく受入れ、さらに友好親善コンサートなどを行った。また、2月には聖火リレーのリハーサルを行い、国内外に羽村市をPRできた。

行政

Q 自然休暇村について、老朽化の状況や利用状況の確認など4回会議が行われたということだが、どのような意見が出たか。また方向性は。

A 自然休暇村の今後のあり方について、さまざまな検討を行ったが結論は得ておらず、引き続き検討を進めている。

賛成

財政の健全化に努め
市民福祉の向上を

経常収支比率が4年連続で100%を超え、依然厳しい財政状況にある。その中で、第5次羽村市長期総合計画の後期基本計画に掲げた事業に、積極的に取り組んでいる。厳しい財政状況を踏まえ、全事務事業の点検・見直しをはじめとした行財政改革の取り組みを強力に実行し、経常収支比率のさらなる改善など、財政の健全化に努めながら、市民福祉の向上に取り組んでいきたい。 <新公会>

賛成

柔軟な発想による
経常経費の削減を

歳入のうち、市民税法人分が約25%と大幅減で市税全体に大きな影響を与え、厳しい財政運営となった。一方、事業執行面では公明党が訴えてきた多岐にわたる施策が実施され、住民福祉の増進に向け大きく前進した。
今後の歳入確保への不断の努力と、行政サービスを充実しつつ柔軟な発想による経常経費の削減など財政基盤強化に向けた取組みに期待し、賛成する。 <公明党>

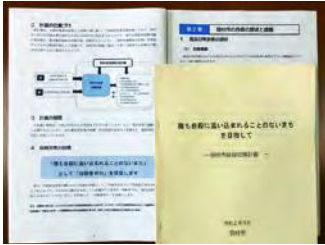
反対

厳しい財政状況の中、
区画整理への繰出しは反対

アメリカと中国の貿易摩擦による影響を受けて、市民税法人分が前年度比2億4,278万円の大幅減となり厳しい財政結果となった。
また、台風19号や新型コロナウイルス感染症拡大により、暮らしや仕事も大きな影響を受けた。厳しい財政運営の中で、反対の多い羽村駅西口土地区画整理事業に6億2,647万円の繰り出しが行われたことは、認定できない。 <市民ネットワーク>



整備された
神明台2丁目地区の歩道



自殺対策計画を策定



生涯学習センターゆとりざ

Q ゴールまで残り10年となっているSDGs（持続可能な開発目標）への取組みは、第六次長期総合計画へはどう盛り込んでいくのか。

A 第五次長期総合計画において、SDGsの考えに合った取組みを推進していると考えている。次期の計画では、まずは市民・事業者等の意見を伺い、SDGsを含め、内容を検討していく。

■安全・安心

Q 自主防災組織の支援・強化策は。組織の責任者などの意見交換会の実施や昨年の台風の教訓の提供は行われたか。

A 年1回防災リーダー講習会を開催し支援している。台風の教訓を活かした防災対策の情報は各自主防災組織へ情報提供しており、今年の防災訓練でも活かされている。

Q 道路維持保全計画に沿って計画的に道路の補修・修繕は進められているか。

A 令和元年度は25・7%の進捗率。その他、神明台2丁目地区の歩道改修工事を行った。

■子育て

Q 養護相談について、児童相談所や警察が対応する事例があったか。その後の継続的な支援体制は取れているか。

A 児童相談所の対応が877件、警察は106件あった。虐待の案件については、関係機関と調整しながら支援を継続している。

■福祉・健康

Q 自殺対策計画の策定はどのように行われたか。

A 関係部課長で構成する羽村市

自殺対策庁内連絡会を設置した。西多摩保健所の職員にもオプザーバーとして参加していただき、連絡会を4回開催。市としての取組みを検討し、計画を策定した。

Q 特定不妊治療費助成金は、東京都の所得制限が夫婦合算所得額730万円から905万円未満に拡大されたが、周知はしているか。

A 東京都の制度改正についての広報の仕方について、今後研究していく。

■教育

Q スクールソーシャルワーカーが支援する児童・生徒が増えているか。

る。1人あたりの受け持ち数、切れ目のない支援体制についてどのような取組みがされたか。

A スクールソーシャルワーカーが関わった延人数は、一中校区が70人、二中校区が65人、三中校区が23人。小学校を卒業しても同じ校区で連携ができる仕組みとなっている。

Q ゆとりざの施設利用率が50%以下となっている。利用率の向上をどう図っているのか。

A 新型コロナウイルス感染症の影響で3月の利用率が低下した。事業を通して施設の良さを知ってもらい、生涯学習の推進に努めたい。

反対

見直しを行わず、区画整理への多額の支出に反対

25棟の移転と38棟の移転調査が行われ、羽村駅西口都市開発整備基金も3億円使われ、残高は約2億7,700万円となった。今後は大幅な負債に頼らざるを得ず、将来に多大の負担を強いることになる。市民の多くが事業に反対している中で、見直しを進めずに、市民の生活を支える他の予算を削っていくことは、順番が違い、市民の理解は得られない。よって認定に反対する。 <日本共産党>

特別会計歳入・歳出

■国民健康保険事業会計

Q ジェネリック医薬品の利用率が78・3%だが、目標値は。

A 羽村市国民健康保険データヘルス計画では、令和5年度末までに80%としている。

■介護保険事業会計

Q 2月・3月の新型コロナウイルス感染症の影響と現在の状況は。

A 感染症対策を講じながら認定調査は通常通り行っている。施設や病院等で、感染防止のため訪問できない場合などは、認定期間を1年延長する対応をしている。

■西口土地区画整理事業会計

Q 羽村駅西口都市開発整備基金は、これまで毎年大きく取り崩し、残高が6億円を切った中で、令和元年度も3億円繰り入れた。今後の見通しは。

A 令和2年度は約2億円を基金から繰り入れる予定。基金残高が減ってきていることから、今後は地方債で対応する計画である。

■下水道事業会計

Q マンホール蓋の長寿命化の更
新工事の進捗率は。

A 令和元年度は100か所の更新を行い、進捗率は約78%である。

■水道事業会計

Q 水はむらのオリジナルラベルの製造販売の概要と実績は。

A 希望者のデザインをそのまま水はむらのラベルにできるとい
もので、PRの一環で募集してい
る。令和元年度は1事業者20
16本の実績があった。

※内容は要約しています。詳細は会議録をご覧ください
ます。
インターネットで会議録を
ご覧になる場合は、
「羽村市議会」
↓「会議録の検閲と閲覧」
↓「令和元年度一般会計等
決算審査特別委員会」

委員の討論(西口土地区画整理事業会計)

賛成

優先順位をつけ、着実な
事業の推進を期待

第3回事業計画変更を決定し、総事業費を変更するとともに、事業施行期間を延伸することや、新たな国庫補助金・東京都補助金を導入し、市民負担の軽減が図られている。コロナ禍においても引き続き、計画的で効率的な事業推進に期待するとともに、権利者の意見を尊重しながら、羽村の玄関口にふさわしいまちづくりがさらに進展することを望む。

<新政会>

反対

長期にわたり、住民の生活
を制限する事業に反対

西口土地区画整理事業は、平成15年から20年間の計画でスタートした。令和元年度は、3回目の事業計画変更を行ったが、事業費は66億円増えて436億円になり、事業期間は15年伸びて34年間にもなった。

裁判も続き地権者の反対も多く、財政運営が厳しい中、見直しをすべきである。長期にわたり住民の生活や財産を制限する事業であり、認定できない。<市民ネットワーク>

西口土地区画整理事業会計は3つの討論がありました。その他の会計については、賛成・反対の討論はなく、全会一致で認定すべきと決定しました。